

平成30年度 自己評価表まとめ
 社会福祉法人ほどがや ゆめっことつか

職員による自己評価(抜粋)

スペース的には元々大きい為十分な広さと言えるがエレベーターなしの2階物件でとてもバリアフリーとは言えません(ワンルームで室内は段差があります)。昨年度は利用児童が少なかった為職員配置は1.4:1ぐらいの割合で職員が配置されていてかなり手厚い運営を行ないました。避難訓練自体は全員実施が困難なぐらい重度の方が多く、地域の児童との関わりを実施する事が難しい為近隣の施設のお祭りに参加させてもらう程度に留まっています。昨年度の外出活動内容に関しては長期休みや土曜日を利用して実施し、バーベキュー場でのバーベキューや電車に乗って出かける企画を行なったり夏休みは通年通り市営プールに行くなどして公共の施設の利用を行ないました。職員自体各マニュアルがどこにあるか分からない為すぐに探せないし以前実施されていた研修が無くなってしまった。拘束については職員がやられてしまっていて拘束がなされていない。

保護者による評価(抜粋)

自己評価表の回収率として34パーセントに留まってしまった事については事業所として考えなくてはいけない事と思われます。回収率だけでなくコメントが一つもなかったこと自体に対しても記載しにくい環境なのか日々お迎え時にご家族と話をしている事でわざわざこの用紙に記載する必要がなかったのかを検証する必要があると思われます。31年度から完全送迎を行なう事となったので家族と話す時間がかなりとりにくくなってしまおうのでその事も踏まえて考えていけたらと思います。



事業所内での分析

<p>【共通点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペースは充分だがバリアフリーではない。 ・各種マニュアルに関してはあるかどうか良く分からない。 ・家族会は実施されておらず家族間の連携支援がなされていない。 ・健全児との交流がなされていない。 	<p>【相違点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に家族が考えている状況とゆめっことつか職員が考えている状況はあまり相違はない。
--	--

事業所の強み	事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・スペースがかなり広く、個々のエリアが確保されている。 ・地域の社会資源との交流が強く他の社会福祉法人の施設と連携したり母体の活動ホームの別事業と連携が行なえている。 ・法令をより厚く人員を配置している事で安全面が図れている。 ・職員が長く勤務している事で児童の特性を理解して関わる事が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの充実。 ・研修の充実を図り職員のスキルアップ。 ・プログラム実施は必要はないが個々の特性に合わせた活動内容の検討。 ・全ての児童に対する避難訓練の実施方法の検討。 ・完全送迎に伴う家族との連携方法の確立。

事業所の改善への取り組み

30年度に卒業をした児童が9名で31年度から法人内で統合があり11名の児童がゆめっことつかに異動してきました。まずは利用者把握を行ないながらその中で現状の改善点についても同時進行で改善を図っていきたい。マニュアルに関しては現状の物を再度見直して家族に周知。研修に関しては日々利用する児童数が大幅に増えた事で研修に参加することが困難な状態の為上半期は実施せず職員が把握に努め、職員数が増えた時点で実施を検討していく。個々の児童を把握しながら個々の特性を踏まえて活動を検討していく。完全送迎に伴い連携時間が縮小されてしまう事に関しては電話利用も検討していく。避難訓練については安全に行なえる方法を法人として考えていく。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
32	11	34.4%